

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 2月22日更新

事務事業名	主要地方道大津植木線バイパス建設促進期成会運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	事業部	課長名 中村 公彦
	施策	5	道路ネットワークの充実		所属課	建設課	担当者名 澤田 哲郎
	施策の柱	13	計画的な道路の整備		所属班	管理計画班	(内線) 2252
予算科目	会計一般	款 8	項 1	目 1	事業連番 10067	根拠法令	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<p>主要地方道大津植木線と国道387号が交差する辻久保周辺(栄～野々島)の渋滞解消と産業流通の促進に向けて新たにバイパスを建設し、安全、安心、迅速性を確保する。</p> <p>平成11年度に旧合志町・西合志町議員の会合の席で、辻久保地区渋滞解消のためのバイパス建設を期成会を作って県へ要望していこう、という申し入れから、旧2町で期成会が設立された。19年度で県事業としてのバイパス建設が決定され地元説明会、測量が開始された。事業期間は概ね10年間とされているが地域の実情と合併支援道路としての機能向上をはかるため早期の完成が待たれる。また、本事業の実施に伴い現道の歩行者対策を本市に一任されているため調査を行い最善策を見出すことが必要である。</p> <p>平成28年度より各種道路整備期成会等参画事業に統合。</p>
【業務の流れ】	<p>合併を期に、この県道沿線の地元区長及び終点側の植木町にも期成会に加入いただいて行政・議会・住民と一体になって事業主体である県へ要望を実施している。※植木町は熊本市と合併したため退会する。</p> <p>平成19年11月にバイパスのルートが決定され、12月には本事業に関する地元説明会が実施されており、平成23年から測量設計を、平成25年度より用地交渉に入っている。</p> <p>今後は事業の早期完成に向けた要望活動と地元既存道の歩行者対策を進める。</p>
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金として、負担している。
【意見や要望】	現道の渋滞解消はバイパスが完成しないと解決しない。また、歩道が設置されていない部分があり早急に対処してもらいたいという要望が寄せられている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	① 手段(28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN))	
総会を開催し、県に要望書を提出しました。負担金の支払いをしました。	総会の開催・県への要望・負担金の支払い	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 総会への出席	回	各種道路整備期成会等参画事業に統合
→ イ: 要望活動	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
県道大津植木線		(単位)
		→ ア: 県道大津植木線バイパス
		→ イ: 線
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
バイパス建設の早期完成		(単位)
		→ ア: 県への要望回数
		→ イ: 回
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
バイパスの早期完成に向け、財源の確保等を引き続き県へ要望を行っていく。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	回	1	1	1	1				
	イ	回	1	1	1	1				
② 対象指標	ア	線	1	1	1	1				
	イ									
③ 成果指標	ア	回	1	1	1	1				
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	10	10	10	10			
		(A) 事業費計	千円	10	10	10	10			
		(A)のうち指定経費	千円	10	10	10	10			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	4	4	2	5			
延べ業務時間	時間	370	370	350	900					
(B) 人件費計	千円	1,474	1,474	1,394	3,341					
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,484	1,484	1,404	3,351					

事務事業名	主要地方道大津植木線バイパス建設促進期成会運営事業	所属部	事業部	所属課	建設課
-------	---------------------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 財政事情が厳しいなか、引き続き早期完成へ要望を行っていく。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 バイパス事業の早期完成を図るうえで今後も事業継続が必要。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 平成28年度から各種道路整備期成会等参画事業に統合する。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 平成28年度から各種道路整備期成会等参画事業に統合する。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 平成28年度から各種道路整備期成会等参画事業に統合する。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地域間交流を促進する幹線道路の建設要望であり、受益者である道路利用者すべてに恩恵があり公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 県及び議会等との対応を行うのに、正職員以外では出来ない。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

県に対し、事業の早期着工と地元区からの要望を伝えることができた。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					